

農林漁業のうごき

京都府 No.183 平成30年 なつ号

農山漁村を守り支える
地域振興



安心して元気に暮らせるコミュニティづくりに
取り組む地域を募集しています！



公共員が参画！集まれ子どもたち！



子どもたちと農作業体験

内容

特集 1	平成30年度6月補正 農林水産関係予算の概要	2~3
特集 2	平成30年 春の叙勲・褒章受章者の喜びの声	4
特集 3	農山漁村コミュニティづくりを応援します (農村型小規模多機能自治推進事業)	5
特集 4	「食の府民大学」で知ろう！学ぼう！	6
トピックス	「新緑祭 in STIHLの森 京都」を開催しました！ ／採卵鶏農場で近畿初！ 福知山市内の養鶏場が「農場HACCP」認証を取得 ／「第2回食のみらい宣言・実践活動表彰」を実施しました！ ／一初夏の丹波広域基幹林道― 森の魅力発見ツアーを開催!!	7~8
シリーズ	農林水産技術センターへようこそ 第7回 農林センター／生物資源研究センター	9
地域の取組	「海の京都旬の食材フェア」(夏期のフェア) 実施中！ 「緑の幼稚園育成事業」に取り組んでいます みつげよう！ 京都丹波でおいしいお米キャンペーンを開催 最新鋭！ JA京都やましるネギカットセンターが竣工 ～さらに付加価値の高い流通・販売を展開～	10~11
シリーズ	注目！ (一社) 京都府農業会議が新しく生まれ変わります！	12

おいしいお米づくりに取り組む農業者、組織を募集します！

第2回「京のプレミアム米コンテスト」(出品募集期間 8月1日~31日)

京都府農産課 (075-414-4953) 応募方法など、詳しくはホームページへ



特集
1平成30年度6月補正
農林水産関係予算の概要

6月補正予算

- ◎ 6月補正予算では、将来に希望の持てる新しい京都づくりに向け、次の3つの観点で京都の魅力を更に高めるための予算を編成しました。

一般会計で182億6,500万円

- ①「安心して暮らしやすい社会の構築」
- ②「京都産業の活力向上」
- ③「スポーツ・文化力による未来の京都づくり」

- ◎ 農林水産業においても将来に向かっての活力向上のために次の3点を推進することとし、一般会計で10億6,350万円の農林水産関係予算を編成しました。

- ①「農林水産業の成長支援と安心・安全対策」
- ②「担い手の確保・育成」
- ③「京都ブランドの海外進出強化等」

〈参考 当初予算〉

京都府の平成30年度当初予算は、年度当初から講じていかねばならない取組に限定した骨格的予算として次の4点を軸に一般会計で8,519億7,200万円（国補正予算を活用した平成29年度予算を含めた14箇月予算としては、8,629億7,800万円）の予算を編成しました。

①「共生社会」の推進を中心とした福祉施策、②深刻化する人手不足対策を中心とした中小企業施策、③今年中に取り組むべき「明治150年」関連施策、④台風災害からの復旧・復興等

農林水産分野においても、以下の3本柱で京都府農林水産業と地域振興における人づくり・生産性向上を図るために必要な予算として一般会計で約195億円（同上の14箇月予算としては、223億円〈前年14箇月予算比3.8%増〉）を計上しました。

①農林水産業の未来を創る ～マーケットイン戦略の推進～、②農林水産業を牽引する担い手を支え育む、③農山漁村を守り支える地域振興・安心・安全対策

6月第2次補正予算

- ◎ 平成30年7月豪雨で被災された方々の生活を一日も早く取り戻すため、復旧・復興に向けて、緊急に対応すべき課題について補正予算を編成しました。

一般会計で106億4,100万円（うち農林水産関係予算として、13億8,100万円）

農林水産業の活力向上

6
月
補
正
予
算

(1) 農林水産業の成長支援と安心・安全対策 1,029百万円

ハード・ソフト両面で農林水産業の生産基盤づくりを
支援するとともに地域の安心・安全確保対策を実施

- ・実需ニーズ対応型園芸産地づくり実証事業費 16,000千円
(ニーズに応じた園芸品目の栽培技術の普及)
- ・低コスト木材生産体制づくり事業費 20,000千円
(低コスト化による木材生産量増加に向けた体制づくり支援)
- ・農林水産業基盤整備事業費 993,000千円
(ブランド京野菜などの生産振興と農山漁村地域の安心・安全対策)

(2) 担い手の確保・育成 9百万円

未来の京都の農業・農村を支える若い担い手を育成

- ・農と里を支える担い手育成事業費 9,000千円
(高校生・大学生の農業への職業意識の醸成と担い手の起業・経営多角化支援)

(3) 京都ブランドの海外進出強化等 25.5百万円

地域の食の魅力を支える京の農林水産物の更なるブランド力
強化と海外展開などによる需要拡大策を実施

- ・京の農林水産物ブランド力強化支援事業費 2,000千円
(ブランド戦略会議の設置・戦略の展開やブランド力強化セミナーの実施)
- ・「おいしい京都」世界戦略事業費 8,000千円
(認知度向上による需要拡大のため、海外での販売促進活動を実施)
- ・京の農産物国際水準GAP普及促進事業費 10,500千円
(販路拡大・経営力の向上を目指す農業者のGAPの実践・認証取得を支援)
- ・宇治茶新展開事業費 5,000千円
(宇治茶の消費・生産拡大のため、新しい飲み方の提案・発信等を実施)

農地・治山施設等の災害復旧及び農業者等の復興支援

6
月
第
2
次
補
正
予
算

(1) 農林水産施設等の復旧 1,340百万円

- ・被災した水田・茶園、林道・治山・漁港施設の災害復旧

(2) 農業者等の復興 41百万円

- ・農地に流入した土砂の除去や農機具の修繕等を支援
- ・府民利用施設等の復旧(碓高原牧場、府民の森ひよし)

特集
2

平成30年 春の叙勲・褒章受章者の喜びの声

平成30年春、京都府で長年農林水産業に従事してこられた方々が、旭日双光章、黄綬褒章を受章されました。この度受章された、岡本 勲さん、山元 勉さん、谷 啓司さんをご紹介します。

旭双

おかもと いさお

岡本 勲さん 現 全国水産物商業協同組合連合会 副会長

全国水産物商業協同組合連合会副会長や京都市中央卸売市場協会理事等の要職を歴任され、卓越した指導力により水産物小売商の地位向上と経営の近代化・合理化等に貢献されました。また、京都市中央市場や「京の食文化ミュージアムあじわい館」での一般開放イベントや「魚さばき方教室」の開催等、魚食普及にも尽力されるなど、水産物小売業の発展に寄与されました。

ご本人コメント

魚食の普及に努められた先人の精神を受け継ぎ、ご指導を受けて今日を迎えさせていただいている中、栄えある章をさすかり、関係者の皆様方のご支援のお陰と感謝の気持ちで一杯です。より一層「魚屋道」に精進させていただきます。



旭双

やまもと つとむ

山元 勉さん 前 京都府養鶏協会 会長

40年以上の永きにわたり養鶏業を営まれ、グループで計105万羽という府内最大の飼養羽数を誇る企業グループへと成長させるとともに、京都府養鶏協会会長を歴任され、平成16年の府内での高病原性鳥インフルエンザ発生時には鳥インフルエンザ対策協議会の設立や府内産鶏卵の信頼回復に尽力されるなど、養鶏業をはじめ畜産業の発展に寄与されました。

ご本人コメント

日本の卵は生で食べられるほど、鮮度や衛生管理の面で優れています。これからも京都府養鶏協会の皆様のご協力や、行政のご指導をいただきながら、消費拡大を図るため、安全・安心な卵の生産に励んで参ります。



黄綬

たに けいじ

谷 啓司さん 現 (株)谷牧場 取締役

48年の永きにわたり、酪農業に精励され、最新のフリーストール牛舎やミルクキングパーラーをいち早く導入されるなど、規模拡大、経営安定の成功モデルとなるとともに、リサイクルエネルギーによる発電方式のバイオマス発電施設である八木バイオエコロジーセンターの整備に尽力されるなど、地域酪農をはじめ、畜産業の発展に寄与されました。

ご本人コメント

永きにわたり、酪農経営を営んで参りました。多くの皆様の温かいご支援を頂き、今回この様な栄えある章をさすかり、感謝の気持ちで、いっぱいです。今後ともより一層の精進を心掛け頑張る所存であります。



特集
3

農山漁村コミュニティづくりを応援します (農村型小規模多機能自治推進事業)

農山漁村地域では、少子高齢化・過疎化により人口が減っている中、農山漁村全体を守る地域活動の強化が求められています。

そこで、複数の集落が連携し、地域外の人たちの協力も得て、地域の課題やニーズに応じた農山漁村コミュニティづくりを進めます。

また、農家レストランでのジビエ料理の提供や特産品づくりなど地域の資源を活かした「なりわい」づくりから企業と提携したビジネス展開までを一体的に応援します。

1 農山漁村コミュニティの維持強化

地域内外の人材を巻き込み、コミュニティの組織化等活動の基盤づくりを進めます。

- ▶ コミュニティの維持強化やビジネス強化に向けた計画づくり
- ▶ 農作業や特産品づくりなど地域の活動に参画する参加型住民（地域外ファン）づくり



大学生との地域資源発見ワークショップ

2 農山漁村ビジネス強化

地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業参画によるビジネス展開、コミュニティ組織の法人化までを支援します。

- ▶ 地域が自ら経営する「なりわい」の創出や発展のための取組を支援
- ▶ 企業との提携による地域資源を活かしたビジネス展開を支援
- ▶ 法人化に向けた専門家派遣



ジビエを活用した食品開発

3 農山漁村コミュニティ伴走支援による下支え

里の仕事人※1（府職員）、里の公共員※2（半公半民）の配置・派遣等により、組織づくりからビジネス展開まで地域活動を伴走しながら支援します。

- ※1 里の仕事人：地域組織の立ち上げや課題解決に向けた取組を伴走支援
- ※2 里の公共員：地域ビジョンの策定や支え合いの仕組みづくりなど、自主的な農村活動を支援



里の公共員が参画！
旧校舎を活用した交流イベント

**安心して元気に暮らせるコミュニティづくりに取り組む地域を募集しています！
お気軽に、下記までお問い合わせください。**

特集
4

HPで公開中!

「食の府民大学」で知ろう! 学ぼう!

食中毒の予防や食事のマナー、余った食材の調理方法から農薬の安全基準等の食の安心・安全に関することまで、食に関する様々な知識を府民の皆様にご手軽に学んでいただくため、「食の府民大学」をインターネット上に開設しました。

3分から5分程度で、誰でもいつでもどこからでも学ぶことができます。

毎日の食を正しく選ぶのに役に立つ「食選力講座」

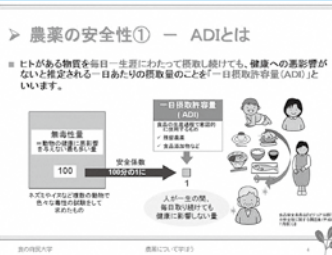
食中毒予防の基礎知識

食中毒の予防に必要な基本事項、具体的な予防方法等について



農薬の安全基準

農薬はどのように使われ、どのような基準で登録されているのかについて



高血圧と食生活

日本人に多い病気である高血圧を予防するための食生活の工夫について



しっかり食べるための工夫が詰まった「調理力講座」

食事のマナー

和食をいただく時の食事マナーについて



京のおばんざい歳時記

京都の家庭料理、おばんざいの歴史や作り方について



なすのからし和え

食べきりクッキング「食品ロスを減らそう」

余った食材等を使ったレシピについて
(協力：同志社女子大学)



こちらから受講いただけます

府民大学

検索

トピックス

「STIHLの森 京都」
リニューアルオープン!

「新緑祭 in STIHLの森 京都」を開催しました!

森づくり・緑環境づくり

「^{スチール}STIHLの森 京都（府民の森ひよし）」は、ご家族連れなどより多くの方に親しんでいただけるよう、平成30年4月1日に「森で遊ぶ・学ぶ・泊まる」をテーマに電源付きキャンプ場やペットと泊まれるキャンプ場を新設し、キャンプ場を20区画から40区画に拡大したほか、全区画で車横付け可能とするなど、新たに生まれ変わりました。リニューアルした「STIHLの森 京都」ではキャンプをはじめ、森林散策や木工体験など、開放感あふれる大自然の中で思う存分楽しんでいただけます。

去る5月3日～4日の2日間、緑とふれあい、豊かな森林を学ぶための体験型イベント「新緑祭 in STIHLの森 京都」を開催しました。当日は、リニューアル効果もあり、例年にないにぎわいで家族連れなど多くの方がモノレールで行く森林散策ツアーや育樹体験会などに参加され、森林を守り育てることの大切さについて理解を深めていただく良い機会となりました。



モノレールで行く森林散策ツアー
(平成30年5月4日)

森づくり推進課 モデルフォレスト推進担当 TEL：075-414-5005

採卵鶏農場で近畿初! 福知山市内の養鶏場が「農場HACCP」認証を取得

安心・安全づくり

福知山市内の採卵鶏農場「有限会社グリーンファームソーゴ」が、今年3月、府内で初めて「^{ハサップ}農場HACCP（※）」認証を取得しました。

同農場では、平成26年から認証取得を目指して定期的に勉強会を開催し、鶏の飼育管理の作業手順や記録方法などの見直しを進めてきました。京都府では、本農場をモデルとして認証農場を拡大するため、指導員の派遣など積極的な支援により、府民の皆様に安心・安全な畜産物をお届けします。



衛生管理に関する勉強会の様子



※農場HACCPとは

食品製造の現場で広く活用されている考え方を取り入れ、農場での微生物侵入や異物混入などを防ぐための重要管理点を定め、継続的に分析・評価を行うことで、健康な家畜や安全な畜産物を生産する取組

畜産課 畜産振興担当 TEL：075-414-4981

トピックス

「第2回食のみらい宣言・実践活動表彰」を実施しました!

安心・安全づくり

府民の皆様の主体的な食育活動を促進するため、自らの食に関する目標を宣言し、その実践結果が分かる取組を募集し表彰する「第2回食のみらい宣言・実践活動表彰」を昨年度実施しました。府内の小中学校等を中心にご応募いただいた170点の中から、いくつかをご紹介します。今年度も宣言を募集していますので、ぜひご応募ください。(詳しくは12ページ)

食のみらい京都府知事賞



「糖尿病の祖父のための血糖値の上がりにくい朝食をつくる」
(京都市立嵯峨中学校 3年生)

食のみらい京都市長賞



「真っ赤に実れ! みんなで育てる凛々子(トマト)栽培プロジェクト! ~同志社女子大学生とともに~」
(新林保育園年長組)

食のみらい京都府栄養士会会長賞 いいね! Saita賞



「夏の厳しい部活に負けない体をつくる!」
(京都光華中学校2年生)

食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 TEL: 075-414-5656

—初夏の丹波広域基幹林道— 森の魅力発見ツアーを開催!!

森づくり・緑環境づくり

平成30年度第1回「森の京都」森林教室を開催し、18名の方に参加いただきました。

京都府立植物園松谷名誉園長を講師にお招きし、目的地までの車窓から見える北山杉の魅力について話し合ったほか、丹波広域基幹林道では、コアジサイやホオノキなど、この季節に見られる花や樹木を観察しました。林道沿線の自然観察を通じて、初夏を感じ森の魅力を発見、森林の持つ機能や林業の果たす役割への理解を深めていただきました。第2回は10月頃に開催予定です。



林道散策の様子
(平成30年5月24日)

京都林務事務所 林務課 TEL: 075-451-5724

シリーズ 農林水産技術センターへようこそ

京都府の研究機関の研究内容や成果をご紹介します

第7回

農林センター 生物資源研究センター

平成30年に取組予定の研究について
皆様にご紹介します

研究1 京都オリジナル良食味米の創出

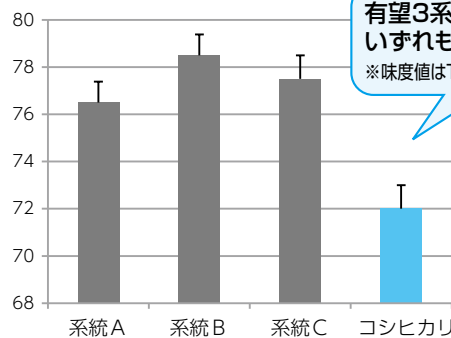
米の産地間競争の激化に対応するため、農林センターでは国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センターと共同で、夏期高温に強く、おいしい京都オリジナル品種米の育成に取り組んでいます。

昨年は11種類のオリジナル米候補系統を試験栽培し、「京料理人」や「お米マイスター」による食味審査会等において、栽培のしやすさ等も含めて有望な3系統を選抜しました。3系統はいずれも「コシヒカリ」以上の食味と収量が期待できる系統です。

今年から来年にかけて、有望3系統について研究や食味審査を行いながら1系統に絞り、2020年度から本格的に京都の農家に栽培していただく予定です。



「京料理人」や「お米マイスター」による
食味官能審査



有望3系統の味度値(おいしさ)は、
いずれも「コシヒカリ」より高い
※味度値はT社製味度メータMA-30Aにより測定

農林水産技術センター 農林センター 作物部 TEL: 0771-22-5010

研究2 「花菜」の根こぶ病対策技術を開発中

春の訪れを感じさせてくれる京のブランド野菜の「花菜」は、「根こぶ病」という病気に弱く、一度発生すると土の中に病原菌胞子が長く残り、年々被害が増加します。

病原菌胞子は土の中にある花菜の根に感染(寄生)し、その数を増やします。そこで、花菜の根に似た成分をもつ「物質」を利用し、畑に花菜の根がない期間に病原菌胞子を発芽・死滅させて菌の密度を減らす防除技術の検討や、新しい「おとり作物」の選抜等多様な根こぶ病対策技術の開発を行っています。

- ・花菜を含むアブラナ科野菜の重要病害
- ・根がこぶ状になる病気
- ・こぶの中に病原菌がいっぱいいる



「防除技術の1例：おとり作物」
(写真は、こぶへりダイコン)

根こぶ病菌の胞子を
発芽させてから枯らせ
てしまう「おとり作物」
を使って土の中の胞子
を減らします。

農林水産技術センター 生物資源研究センター 応用研究部 TEL: 0774-93-3527

地域の取組

丹後

「海の京都旬の食材フェア」(夏期のフェア)実施中!

海の京都エリア(福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)は豊かな自然に恵まれ、水産物や農産物などが豊富な地域です。

平成29年度から、観光で訪れる方々に地元産の食材を楽しんでいただくため、旬の食材を地



夏期の旬の食材 岩がき

元飲食店で提供する「海の京都旬の食材フェア」を実施しています。

夏期のフェアは8月31日まで開催し、岩がきや白いか、万願寺甘とうなどの食材をフェア参加店で提供しています。

海の京都旬の食材提供店

検索

丹後広域振興局 農林商工部 商工労働観光室 TEL : 0772-62-4304

中丹

「緑の幼稚園育成事業」に取り組んでいます

次代を担う子供たちとその家族に木の良さや森の大切さを伝え、府内産材の利用を進めるため、木育活動に積極的に取り組む幼稚園を「緑の幼稚園」として認定し、「緑の幼稚園育成事業」でその活動を支援しています。

平成29年度は、府内産材テーブル・ベンチや苗木など木育活動に使用する資材を購入し、福知山市と舞鶴市内の認定園6園に貸与するとともに、府職員や幼稚園スタッフが「木のはなし」や「森や木の紙芝居」の読み聞かせを行いました。

木製品に親しんでいただくことを契機として、幼稚園での木育活動がさらに広がることを期待しています。



府内産材テーブル・ベンチにふれあう園児と幼稚園スタッフ

本事業は、「豊かな森を育てる府民税」を活用して実施しています

中丹広域振興局 農林商工部 森づくり推進室 TEL : 0773-62-2586

南丹

みつけよう! 京都丹波でおいしいお米キャンペーンを開催

京都丹波地域は、丹波産キヌヒカリで食味ランキング「特A」を2年連続獲得したおいしいお米の産地です。

丹波産キヌヒカリを始め、身近な場所で手に入るお米のおいしさを知ってもらう「おいしいお米キャンペーン」を京都丹波の直売所で同時に開催します。

おいしいお米とそれらを取り扱う直売所の紹介を、地元だけでなく京阪神の都市住民もターゲットとして9月から12月まで実施します。

キャンペーンでは、ポスターによるPRのほか、試食など各直売所でのイベントを通じて、京都丹波のお米の魅力を発信していきます。



お米売り場の様子

南丹広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL : 0771-22-0133

山城

最新鋭! JA京都やましろネギカットセンターが竣工
~さらに付加価値の高い流通・販売を展開~

平成30年2月26日、山城の地域ブランド「京やましろ新鮮野菜」の主要作物である「九条ねぎ」の^{ハサップ}カットセンターが久御山町相島に竣工しました。HACCPの考え方による衛生管理とともに、微酸性電解水を使った先進的な殺菌技術等を備えており、ネギ本来の美味しさを損なうことなく加工できるのが特徴です。



次々とパックに詰められる九条ねぎ

大手スーパーや外食産業への契約取引の拡大等、有利な流通・販売や出荷量拡大が期待されています。

総事業費	1億6,540万円
床面積	436㎡
年間生産量	136t

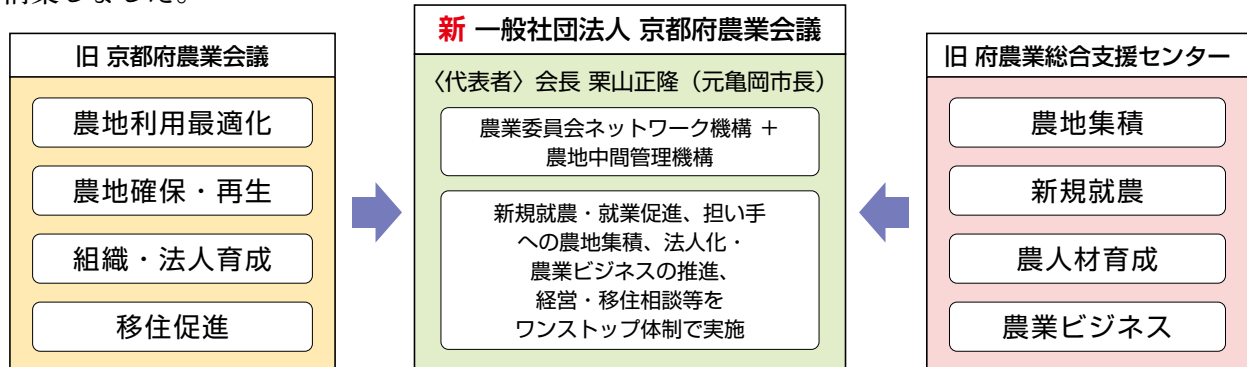
山城広域振興局 農林商工部 企画調整室 TEL : 0774-21-3229

注目！ (一社)京都府農業会議が新しく生まれ変わりました！

(一社)京都府農業会議は多様な担い手が共存・協働する持続可能な農業農村づくりを更に強化するため、全国初の取組として7月1日に(公社)京都府農業総合支援センターと合併し、集落営農の組織化や法人化、担い手への農地集積、新規就農・就業促進から経営相談など「人と農地に対するワンストップ支援体制」を構築しました。



看板を設置する
栗山会長(右)
立会人は京都府
山下副知事(左)
(2018.7.2)



京都アグリ創生現地推進役を新たに配置！

京都・乙訓・宇治、相楽・綴喜、南丹、中丹、丹後の各ブロックに16人の「京都アグリ創生現地推進役」を新たに配置しました。

農業委員や農地利用最適化推進委員の地域活動を支援し、『経営規模を拡大したい』、『誰かに農地を借りてほしい』、『集落コミュニティ再生を支援してほしい』といった声に、きめ細かくタイムリーに応えます。

経営支援・担い手育成課 農地活用担当 TEL：075-414-4902

お知らせ

「食」についての目標を宣言しよう！(8ページ)
第3回 食のみらい宣言・実践活動を募集します！

募集期間
 6月1日(金)～9月28日(金)

募集内容
 自らの「食」に関する目標、実践結果及びその様子が分かる写真



第3回 食のみらい宣言 [検索](#)

お知らせ

低コスト林業技術研修会

～京都・京北 林業技術PR大会～

森林調査や素材生産の低コスト化に向けた最先端の林業技術を学ぶ研修会です。

【開催日時】 9月13日(木)
【開催場所】 京都市右京区京北 地内



募集期間

7月13日(金)
 ～
8月24日(金)

※専用の申込用紙にて

京都府京都林務事務所 [検索](#)

発行/平成30年7月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL：075-414-4946 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか

公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>